

第 12 回九州 C T 研究会 開催報告

実行委員 朝倉一義

第 12 回九州 C T 研究会が 2023 年 5 月 13 日（土）、北九州国際会議場を会場に開催された。当会、代表世話人である大石芳貴氏（産業医科大学病院）が当番世話人を務め、テーマには「A I 技術の進化がもたらす C T 技術のイノベーション」が掲げられた。冒頭、挨拶に立った大石芳貴氏は A I 技術の進歩について触れた上で、第 12 回九州 C T 研究会では、その技術の現状を一から学び、今後の放射線技師の未来像を考える新たな機会となるよう、プログラムを構成したとテーマについて説明がなされた。

プログラムは、午前中に一般研究発表、午後には特別講演、基調講演、シンポジウムが設けられた。また、午前と午後のプログラムの間には、情報提供（メーカープレゼンテーション）とランチョンセミナーも行われ、機器展示の時間が設けられた。

午前中、最初の一般研究発表では、林六計氏（鹿児島大学病院）、佐々木淳一氏（佐世保市立病院）が座長を務め、当研究会役員より推薦された優秀 4 演題の発表が、続いて西尾康孝氏（大浜第一病院）、藤本一真氏（宮崎県立宮崎病院）が座長を務め、企業 6 社による情報提供が行われた。バイエル薬品株式会社によるランチョンセミナーの後には機器展示の時間が設けられ、企業様との情報交換も満足の行くものであった。

午後からは、桂川茂彦先生による特別講演「A I の歴史と進化論」が行われた。座長は、大石芳貴氏、小川正人氏（行橋中央病院）が務めた。続いて、西嶋康二郎氏（大分県立病院）から、「我々はどう生きるか ～ C T における Deep Learning 研究の現状とこれから～」と題したテーマで基礎講演が行われた。本田恵一氏（熊本中央病院）、坂部大介氏（熊本大学病院）が座長を務めた。

最後のセッションとなるシンポジウム「A I 技術の現状と将来への期待（ユーザー発表）」では、黒木英郁氏（久留米大学病院）と西嶋康二郎氏が座長を務め、各社 A I 技術について既に導入実践されている 5 施設から現状を報告していただいた上で、総合討論『A I の進化と C T 検査・診断の変化』に進んだ。

すべてのセッション終了後には、次回、第 13 回九州 C T 研究会当番世話人を務める本田恵一氏が挨拶し、最後に代表世話人の大石芳貴氏より閉会の挨拶がなされた。

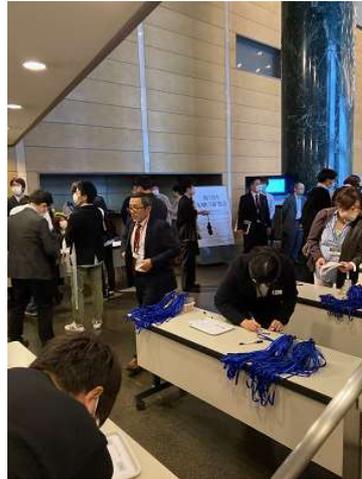
“約 4 年ぶり”の、“待ちに待った”対面開催、当日はあいにくの雨となりましたが、201 名と多数の方に御来場頂き、最後の総合討論まで退席される方も少なく、シンポジストが会場に呼び掛けるなど、対面式ならではの小気味よい“call and response”が展開された。さらには特別講演にご登壇戴いた桂川先生からもご意見を戴くなど、まさに会場一体となった熱い議論がなされ大盛況のうちに幕を閉じました。また機器展示ブースにも多くの方が訪れ、Web 開催が主流となった昨今において、久しぶりの賑やかな光景を目にすることができ、当会一同大成功であったと安堵するとともに、参加者の皆様に九州 C T 研究会の熱を肌で感じて頂けたものと思っております。

未筆ながら、九州 C T 研究会は更なる発展のため研鑽を積んでいきたいと思っておりますので、今後ともご尽力、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。この度は足元が悪い中、多数の方のご参加、誠に有難うございました。当会一同心よりお礼申し上げます。

開会の挨拶



受付



機器展示会場

